

中学校統合方針に係る

拡大学校運営協議会（説明会）の概要について

教育委員会では、平成27年度に実施した中学校統合に関するアンケート調査結果や、その後の各学校の学校運営協議会での意見の取りまとめを活かして、新たにまとめた「中学校統合方針案」の説明会を開催しましたので、その概要をお知らせします。

1. 拡大学校運営協議会の開催状況

5月29日～6月8日の間に、町内5会場で、学校運営協議会委員や保護者、また地域の皆様方を対象に説明会を開催しました。参加人数は延べ1771人となりました。

2. 教育委員会からの説明の概要

協議会では、まず、教育委員会から、新たな統合方針案をまとめるまでの経過の説明を行い、その次に、「中学校統合問題に関する方針案」として、教育委員会の最終原案の説明を行いました。

中学校統合問題に関する方針案

平成33年4月に第1段階統合として、久賀中学校を整備し、久賀中、東和中及び安下庄中を統合し統合中学校（周防大島中学校（仮称））を開設します。平成40年4月に第2段階統合として大島中を合わせて、町内の中学校を1校とします。

（注）7月6日に開催された教育委員会会議において、方針案の文言の訂正（「吸収統合し」→「合わせて」）が行われました。

3. 協議会で出された意見

5地区の説明会では、教育委員会の示した方針案に賛成系の意見や反対系の意見、また、その他の意見等、様々な意見が出されました。その中のいく

つかをご紹介します。

▼賛成系意見

- ・統合後、魅力ある学校づくりに協力し、統合の成果を出せるよう他地域の方々と協力していきたい。
- ・少子化が進み、最終的には統合も仕方ないと思う。
- ・2校間で勉学もスポーツも切磋琢磨することが期待できる。
- ・統合後の地域からも、コミュニティ・スクールの支部として委員を出せることは良いことだ。

▼反対系意見

- ・町が進める定住対策の施策に逆行している。
- ・通学距離が長くなることは、生徒にとって大きな負担となる。
- ・少人数学級での教育は大島の売りではないのか。
- ・町内で最も生徒数が多いのは大島中なのに、なぜ久賀中に1校統合なのか。
- ▼その他
 - ・段階的統合ではなく、1校一括統合を望む。
 - ・2校案には賛成。2校存続を希望する。

・この問題についての周知をもっと十分に行ってほしい。

・最終的に1校案を選択する理由に、教育委員会の具体的なビジョンが感じられない。

4. 教育委員会からの説明・答弁

それぞれのご意見に対して、教育委員会から説明や答弁をさせていただき

ました。その中のいくつかをご紹介します。

- ・将来の生徒数の減少を考慮し、新たな統合方針案を策定した。魅力のある学校ができれば、その学校に入りたいという声が増えてくるかもしれない。
- ・遠隔地の生徒の通学時間の短縮のために、スクールバス直行便やタクシーの利用を検討する。
- ・クラス替えのできる、ある程度の人数がある学校が望ましいと考える。
- ・今までの各種調査結果等を取りまとめ、教育委員会で調整・協議した結果、統合校舎を久賀中学校とした。

5. 今後の議論の進め方

今回の拡大学校運営協議会で出された意見や要望については、教育委員会から、できるだけ丁寧に説明・答弁をしております。全員の心が納得されたとは言えませんが、「中学校統合問題に関する方針案」の方向性は、概ねご理解をいただけたのではないかと考えています。

今後、これらの意見や要望を踏まえた上で、教育委員会会議や町長主宰の総合教育会議で協議し、町議会のご意見も伺いながら、中学校統合問題に関する方針案の進め方について検討して参ります。

■問い合わせ

教育委員会総務課

☎0820(78)0700

